

肥満症 (obesity)

- ・ 肥満症は肥満に起因ないし関連する健康障害を合併するか、その合併が予測され、医学的に減量を必要とする病態と定義される(肥満症診療ガイドライン2022)。
- ・ 肥満症に対しては減量治療を行い、合併疾患を改善することが推奨され、治療の基本となるのは運動療法と食事療法であるとされている(肥満症診療ガイドライン2022)(図1)。
- ・ セマグルチド(ウゴービ)は肥満症に適用を有する薬剤であり、あらかじめ肥満症治療の基本である食事療法・運動療法を行っても、十分な効果が得られない場合で、薬物治療の対象として適切と判断された患者を対象とすることとされている。

図1: 肥満症治療方針(肥満症診療ガイドライン2022より作成)

